

## 第5回京丹波町総合計画審議会 会議概要

日 時 平成28年5月16日(月) 午後1時30分～3時00分  
場 所 京丹波町役場 議場  
出席委員 総合計画審議会委員(欠席なし)  
事務局(山田参事、久木課長、石崎主幹、堀室長、田中補佐、片山主査)

### 1 開 会

#### ・会長あいさつ

中西会長 初めての全員出席となった。本日は創生戦略の27年度評価及び第2次総合計画策定に向けた進捗状況について検討いただきたい。全体会議60分、部会90分の予定である。どんなことでもよいので、気さくな意見や質問でも、必ず一つは発言していただくよう、よろしくお願いします。

#### ・委員変更の報告

事務局 (委員3名変更の報告。部会構成の変更の報告。産業建設部会長の選出を部会へ依頼。オブザーバー水口氏の紹介。事務局異動の紹介。)

### 2 京丹波町創生戦略 平成27年度評価について 及び

### 3 第2次京丹波町総合計画策定に向けて(次第2・3合わせて審議)

事務局 地方創生交付金の基礎交付充当事業8件を中心に意見を頂きたい。40事業については、後日事務局へ意見をいただいてもよい。

(資料の誤字の訂正を報告。評価の見方の説明。)

委員 町内でソーラーパネルが目につく。休息に設置が進んだ。あの光景は自然を町の魅力に掲げている本町にとって、美観を損ねるものではないかと私は思うが、どのようにお考えか。

事務局 震災以降、再生可能エネルギーが注目を集めるようになった。本町では木質エネルギー導入に向けて整備しつつある。エネルギーの一部でも自給を目指すものである。太陽光エネルギー利用についても、遊休農地の利活用として所有者が実施されている。

委員 町として規制や干渉はしないということか。

事務局 一方では、荒廃地が整備されているといえる。現時点では、所有者の権利であり規制はできていない。

委員 ソーラーパネルの設置にかかる申請は毎月ある。農地としては、荒廃させるくらいなら有効利用を優先している実態がある。国の方針でもある。

事務局 企業誘致用の土地に設置されることもある。雇用につながる企業誘致にした

い。

委員 一般的に田舎暮らしを失敗した人の三大要因が、「不便、仕事がない、地域との折り合い」であるといわれている。「仕事づくり、創業支援」にB評価が多いが、もっと充実させないと仕事があるとはいえないのではないか。内容の拡充が必要ではないか。

事務局 ワーキングチームを通して所管課へ返したい。

委員 仕事がないといわれるが、担い手不足の分野が多い。何でもよいといえば、仕事はあるのではないか。Iターン者が望む収入を達成できる仕事がないと理解してよいか。

委員 綾部市の工業団地で最大手のトステムが撤退し、市職員が戸惑っていたが、現在では場所がないくらい企業で埋まっている。縦貫道が開通し、舞鶴港を經由して海外とやり取りできる立地が有利に働いた。京丹波も高速道路を使えば、企業進出できる立地である。また、綾部市でも移住者が多いが、都会へ戻る人も多い。仕事とのマッチングが難しい。若者は進学先で就職してしまう。仕事はあるが人手がないという状況が生まれる。

委員 食の安心安全が得られ自然の中で子育てをしたいという人が2～3件、竹野地区へ入って来ている。京都府が移住の相談を受けたとき、府コンシェルジュが紹介するのは南丹市。窓口が明確になっているから。京丹波も早急に受け入れ態勢の整備が必要である。受け入れるわれわれも環境整備をする必要がある。大阪、兵庫、奈良、滋賀までアクセスが容易で、京都市内は1時間でいける。綾部市よりも有利である。積極的な姿勢が必要なのではないか。

委員 うちの区では、前から住んでいる人より、他所から来た人のほうが多い。前から住んでいる人は他所から来た人のことを、「区入りせず好きなことをしている」と言い、他所から来た人は「区に入るなど言われた」と言う。こういったことを解消して、住みやすくしてほしい。願いです。

委員 Iターンで入ってくる人のハイテンションと地元のテンションのミスマッチはある。こういうことは総合計画で解消していきたい。

委員 町内企業をヒアリングした結果、地元から採用したいが募集しても応募がないとのこと。長尾委員が言われたミスマッチによるもの。Iターン者に関しては、仕事情報をネットや資料でとどめず、地域の世話人が必要ではないかと以前の委員会でも言われていた。

委員 企業誘致はスピードが求められる。物件情報を求められて見合う物件がなかったことがある。問い合わせがあってから探すのではなく、空き家バンクのようにすぐに案内できるメニューをそろえておく必要がある。

委員 地元企業は高卒レベルの人材を求めている。南丹高校に作業棟を新築していただき、アナログ作業の人材育成をしてもらっている。Iターン者がどんなニー

ズで来られているか把握しなければならない。町内の企業が知られていないので、産業祭などを開いてPRしていきたい。現在、商工会には町内企業野60社が加入しているが、これを下回ると商工会を設置できなくなる。

#### 4 その他

【次回審議会予定】

平成28年6月23日（木）午後1時30分～